

日本経済の進むべき道を、次世代型経営モデルから指し示す
「KAIKA Awards 2017」 受賞決定
KAIKA大賞は中日本高速道路株式会社、有限会社原田左官工業所
～社会価値を生み出す持続的な経営・組織・人づくりを行っている取り組みを表彰～

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、社会価値を生み出す持続的な経営・組織・人づくりを行っている取り組みを称え、紹介するための表彰制度として「KAIKA Awards（カイクアワード）」を設けています。2017年度は公募による応募組織のなかから審査委員会（委員長：国連グローバル・コンパクト ボードメンバー／富士ゼロックス株式会社 イグゼクティブ・アドバイザー 有馬利男氏）の審議を経て、「KAIKA大賞」2組織ならびに「KAIKA賞」4組織を決定しました。また、審査委員会の推薦により、我が国の災害復興に関連する優れた活動を行う3組織に「特別賞」の贈賞を決定しました。他に、応募の中からテーマの重要性、取り組み方のユニークさ等をもつ7組織を「特選紹介事例」として選出したほか、本年特別に、Awards創設時から毎年応募いただきKAIKAの考え方を支持・活用いただいている1組織に感謝の意を込め、「グッドパートナー賞」の贈賞を決定しました。一般社団法人日本能率協会では企業内の能力開発活動を通じて、体質が改善・強化された優秀な企業または事業所を「能力開発優秀企業賞」として長年表彰してきました。時代の変化に対応し、2011年1月から、「KAIKAプロジェクト」として全面的にリニューアルをいたしました。

【KAIKA Awards 2017 受賞結果】

(組織名五十音順)

■ K A I K A 大賞

中日本高速道路株式会社	「コミュニティの創生を目指した新たな地域連携の仕組みと人財育成」
有限会社原田左官工業所	「次世代の左官職人育成プロジェクト」

■ K A I K A 賞

株式会社内野製作所	「人・組織から会社を変え常に成長する。」 (F1マシン部品などの試作を可能にする世界レベル技術の伝承)
株式会社エーピーコミュニケーションズ	「常駐型 IT エンジニアの働き方 & キャリア改革」
クオールアシスト株式会社	「『働けない』から『働ける』への転換 ～目の前に社員がいない組織の工夫と実践～」(物理的移動困難な重度障害者を全国で在宅雇用)
株式会社明電舎 認定特定非営利活動法人コアネット	「小学生向けものづくり教室」 (事業会社とNPOが組んで理科離れ・工作離れを防ぐものづくり教室を展開)

■ 特別賞

一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0 (宮城県)	(教育事業、コミュニティづくり、移住支援などを通じて継続的に街の文化的な発展に寄与)
いわてアートプロジェクト実行委員会 (NPO 法人岩手未来機構) (岩手県)	(アートを通じた震災復興への取り組み)
一般社団法人チーム熊本 (熊本県)	(東日本大震災への支援で発足、地元の熊本地震でもチーム再結成により活動を展開)

■ グッドパートナー賞 (本年特別にJMAから贈賞)

株式会社竹中工務店

■ 特選紹介事例 (テーマの重要性、取り組み方のユニークさ等において特筆すべき活動を贈賞とは別に選出)

有限会社風曜日・てしかがえこまち推進協議会UD部会
「ユニバーサルな観光地を目指して…!!」
株式会社セプテーニ・ホールディングス
「一人ひとりが活躍できる社会の実現にむけたプロジェクト AI 型人事システムを活用した地方学生向け『オンライン・リクルーティング』～交通費・宿泊費を一切かけず、エントリーから内々定までウェブで完結～」
全日本空輸株式会社
「ANA BLUE WING プログラム」

公益財団法人東京都環境公社

「東京から水素社会の未来を発信！ 一水素情報館『東京スイソミル』における環境学習事業—」

東邦レオ株式会社

「グリーンなライフスタイルを実現 内と外を繋げる『街の ENGAWA』づくり マンションを起点に暮らしが広がる緑を媒介にしたコミュニティビジネス」

株式会社ナカダイ

「多様な価値観と自由な発想で、廃棄物処分量からコペルニクス的に事業転換したナカダイ流マーケティングビジネスモデル」

株式会社富士通アドバンスエンジニアリング

「『コミュニケーション・ホスピタリティ』を活用し『人・企業・社会』を豊かに変えていく職場活性化の取組 ～これからの時代を生き抜く、新たなエンジニア人材創出に向けて～」

【KAIKA Awards 2017について】

日本能率協会（JMA）では、「個の成長、組織の活性化、組織の社会性（広がり）」を同時に実現していく運動を「KAIKA」と定義し、その取り組みを促進・支援する活動を行っています。「KAIKA」は開花・開化を語源とする造語です。社会課題の解決につながる、組織としての力強い取り組みや画期的な取り組みを、表彰を通じて紹介することにより、活力ある経営・組織が増えていくことを目指しています。

審査は、①継続・発展の可能性、②力強さ・新しさ・ユニーク性、③影響力と変化（社会的意義と価値、意識や関係性の変化、個人の成長と組織力の発揮）の観点から、審査委員会および審査委員会から委嘱された検討委員による書類審査・現地ヒアリングを行い、その結果、「KAIKA 大賞」ならびに「KAIKA 賞」を前述の組織に決定しました。

また、我が国には東日本大震災や熊本地震など、災害の困難を乗り越えながらもこれからの社会づくりの参考になる取り組みが被災地において見られます。こうした中から、先駆的モデルでかつ関係者の活力が引き出され、様々な共感を呼んでいる3組織について「特別賞」を贈賞しました。

あわせて、テーマの重要性、取り組み方のユニークさ等をもつ活動を、贈賞とは別に「特選紹介事例」として選出しました。いずれも、日本社会の活力向上につながる、特色のある取り組みです。

表彰式（および審査委員による解説）は、2018年2月7日（水）17時15分より赤坂インターシティコンファレンス会議室（港区・溜池山王『赤坂インターシティAIR』内）にて行います。詳細はこちらをご覧ください。（<http://kaika-management.com/awards/>）

なお次年度は、2018年2月から募集を開始し、同12月に受賞発表を予定しています。

1. 公募対象

- ・「KAIKA」の意義を認め実践している組織。
- ・全社、全組織ならびに事業部、部門、プロジェクトなどの組織単位。

2. 賞の種類

- ・KAIKA大賞（全社・全組織の部 プロジェクトの部）
- ・KAIKA賞（全社・全組織の部 プロジェクトの部）
- ・特別賞

3. 受賞要件

- ・KAIKAモデルの実践＜個の成長、組織の活性化、組織の社会性（広がり）＞がはかられつつあり、ねらった成果に近づくことが予見されること。
- ・「継続・発展の可能性」「力強さ・新しさ・ユニーク性」「影響力と変化（社会的意義と価値、意識や関係性の変化、個人の成長と組織力の発揮）」が認められる活動であること。

4. 審査

1) 審査概要

審査は、以下に従い実施しました。審査委員会は実務家、学識者、専門家等の第三者機関として構成され、審査プロセスの一部は、検討委員に委嘱して実行します。

一次審査（書類審査） 応募組織から提出された書類の審査

↓

二次審査（現地審査） 応募組織の関係者へのヒアリングによる審査

↓
最終審査(委員会) 審査委員会による審査

↓
決定 注)特別賞は推薦、現地ヒアリング、委員会審議を経て決定しました。

2) 審査体制

<審査委員会>

(敬称略・氏名五十音順)

(委員長)

- ・ 有馬利男 (国連グローバル・コンパクト ボードメンバー/
富士ゼロックス株式会社 イグゼクティブ・アドバイザー)

(委員)

- ・ 飯塚まり (同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授)
- ・ 大久保和孝 (新日本有限責任監査法人 経営専務理事)
- ・ 河合太介 (株式会社道 代表取締役社長)
- ・ 河口真理子 (株式会社大和総研 調査本部 主席研究員)
- ・ 琴坂将広 (慶應義塾大学 総合政策学部 准教授)
- ・ 塚原一男 (株式会社 IHI 顧問)
- ・ 挽野 元 (アイロボットジャパン合同会社 代表執行役員社長)
- ・ 水上武彦 (株式会社クレアン CSV コンサルタント)
- ・ 山口範雄 (味の素株式会社 特別顧問)

※上記審査委員会からの委嘱を受けて審査プロセスの一部を担当する検討委員制度を運用。

(検討委員)

- ・ 安斎 徹 (群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部 教授)
- ・ 岩崎 徹 (宇部興産建材株式会社 常務取締役)
- ・ 上田雅美 (株式会社アネゴ企画 代表取締役)
- ・ 江夏幾多郎 (名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授)
- ・ 大島由起子 (インフォテクノスコンサルティング株式会社 セールス・マーケティング事業部長)
- ・ 太田大作 (株式会社日本能率協会コンサルティング 常任顧問/
株式会社クロスオーバー 代表取締役社長)
- ・ 小野善生 (滋賀大学 経済学部 教授)
- ・ 桐野将明 (KEY ISSUES 有限会社 代表取締役)
- ・ 合力知工 (福岡大学 商学部 教授)
- ・ 千田直毅 (神戸学院大学 経営学部 准教授)
- ・ 田中 信 (一般社団法人チームスキル研究所 研究所長)
- ・ 中西 匠 (air brand studios 株式会社 代表取締役/
株式会社 UES パートナース 執行役員)
- ・ 中間大維 (一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会 専務理事 事務局長)
- ・ 野口義文 (立命館大学 研究部事務部長 産学官連携戦略本部 副本部長)
- ・ パク・スックチャ (アパシヨナータ, Inc. 代表)
- ・ 廣岡久生 (コンソリレーション有限会社 代表コンサルタント)
- ・ 宮崎百合子 (株式会社クレネ 代表取締役)
- ・ 山下 勝 (青山学院大学 経営学部 教授)
- ・ 山田竜也 (株式会社インディージャパン 代表取締役トレーニングディレクター)

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会
JMA マネジメント研究所/KAIKA プロジェクト事務局
(担当: 畑野、山崎)
TEL: 03-3434-0380 E-mail: kaika@jma.or.jp

受賞内容の詳細は

ホームページ (<http://www.jma.or.jp/news>) に掲出しております。

「KAIKA大賞」

(組織名五十音順)

●中日本高速道路株式会社 < 全社・全組織の部 >

受賞テーマ：「コミュニティの創生を目指した新たな地域連携の仕組みと人財育成」

取り組み概要

- ・地域とのつながり、活性化を強め、ソーシャルビジネスの知識や事業化ノウハウを習得、チャレンジ精神の醸成などを通じて、新たなビジネスモデルを創造できる社員の育成をねらいとして取り組んだもの。民営化後、新たなビジネス展開の重要性が高まり、地域が抱える課題解決や活性化への貢献が望まれるなか、社員の中では自社における新規事業に対する閉塞感が生じていた。これらの状況に課題意識をもった同社は、チャレンジする人財を育成する仕組みとして、「地域連携」と「人財育成」を組み合わせ、クラウドファンディングを活用した新しい人財育成プログラムをスタートさせた。
- ・新しい事へ挑戦する意欲の欠如や、既存のビジネスモデルによる創造性豊かな人財を育成していくことの難しさに対して、ユニークな解決法(研修)で乗り越えようとしている好事例。地域を巻き込んだ「クラウドファンディング」でその研修を実施している点においても独創性のある取り組み。

《会社概要》

住 所：〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-18-19 三井住友銀行名古屋ビル

Web サイト：<http://www.c-nexco.co.jp/>

代 表 者：宮池 克人（代表取締役社長CEO）

事業内容：高速道路の新設及び改築を行う建設事業、開通後の維持管理及びサービスエリアの管理・運営などの関連事業

●有限会社原田左官工業所 < 全社・全組織の部 >

受賞テーマ：「次世代の左官職人育成プロジェクト」

取り組み概要

- ・左官の伝統的な仕事の価値を見つめなおし、さらに安定かつ魅力的な職業であるために、「(1)左官という仕事を増やす」「(2)左官で働く人を増やす」「(3)左官職人を育成する」の3テーマを進めたプロジェクト。一社での取り組みだけではなく、業界団体のPRを主導し、また同業他社8社で私設の東京左官育成協会をつくり、新入社員の共同育成を行う等、社会視点に立った働きかけを牽引的に行っている。また、女性職人の産休・育休後復帰も実現するなど、効率面、制度面、働き方面に工夫をこらし、一人ひとりが成長できる職場づくりを進めている。さらに、従来のマジョリティであるベテラン男性社員達の意識変革、ベネフィットにもつながっている（綺麗な作業着、福利厚生他）。

《会社概要》

住 所：〒113-0022 東京都文京区千駄木4-21-1

Web サイト：<http://www.haradasakan.co.jp/>

代 表 者：原田 宗亮（代表取締役）

事業内容：左官工事

「KAIKA賞」

(組織名五十音順)

●株式会社内野製作所 <全社・全組織の部>

受賞テーマ：「人・組織から会社を変え常に成長する。」

取り組み概要

- ・年商の1/4を投資した「世界最先端の工作機械の導入」と「技術者の育成」を同時に追求する挑戦を続けている。技術者の育成にはトレーニングと、部門間・社員間のコミュニケーション、チームワーク、技術伝承のすべてに目を向けた取り組みを展開している。そこには社員（個）の成長が会社の成長と一体化しているという信念が経営に反映されている。
- ・同社はかつて、収益性や技術力はすぐれていたが、技術者の高齢化が進み、独裁体制で社内に停滞感が漂い、取引も1社依存体制にあった。そこで、会社の将来像を個人の成長、継続的發展、社会的貢献と定め、ハード・ソフト・運用、全ての改革を進めた。全社方針が浸透する中で、社員の品質・コスト・納期意識が飛躍的に向上。生産活動も大きく変わり、顧客数は1社依存から50社に拡大。地元とのイベント交流や、学校との交流なども積極的に行う組織に変貌した。

《会社概要》

住 所：〒192-0001 東京都八王子市戸吹町 2105 番地

Web サイト：http://www.uchino-ss.co.jp/

代 表 者：内野 徳昭（代表取締役）

事業内容：精密歯車の試作・開発自動車・二輪車用レースギアの製造

●株式会社エーピーコミュニケーションズ <全社・全組織の部>

受賞テーマ：「常駐型 IT エンジニアの働き方&キャリア改革」

取り組み概要

- ・IT のシステムエンジニアは、顧客先に常駐しながら働くことが多いが、顧客企業のエンジニアより高い技術が求められることも多く、常に一定以上のニーズはありながらも、有期雇用を前提としたケースも多い。当事者であるエンジニアは自身の働き方やキャリア形成が長期的に考えづらい面があるが、同社ではエンジニアは正社員雇用を原則としつつ、常駐型でもスキルアップ・キャリアアップできる仕組みをつくってきた。
- ・下流工程主体の技術者リソースを上流工程主体の技術人材に育成シフトしながら詳細設計、基本設計、要件定義案件中心の事業構造へシフトさせている企業努力と、先進技術の習得を社員の自主性を尊重しながら組織的なノウハウにしている好事例。

《会社概要》

住 所：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2 - 9 - 12 神田徳力ビル 3 階

Web サイト：http://www.ap-com.co.jp/

代 表 者：内田 武志（代表取締役社長）

事業内容：一次請け・レベニューシェアでの請負によるシステムの提案、開発、保守、EC サイト構築・運営、新規サービスの企画・開発、キャリア・ISP・DC 向け SI・BPO サービス

●クオールアシスト株式会社 < 全社・全組織の部 >

受賞テーマ：「『働けない』から『働ける』への転換 ～目の前に社員がいない組織の工夫と実践～」

取り組み概要

- ・重度の障がい者を全国各地で契約社員として雇用し、在宅勤務で成果を出している取り組み。外出などの移動困難や進行性の疾病難病をもつ就労困難な障がい者雇用は難しいといわれるなかで、目の前に社員がいなくても組織的に働ける仕組みとして、新しいスタイルをつくりあげた。
- ・テレワークシステム環境を活用しながら、勤務状況や業務の進捗や成果を共有化する。時にクライアントのやり取りも行いながら責任を持って仕事を行っている。また、地域採用前から、「障害者就業・生活支援センター」など地域の支援団体や地元の自治体に出向き協力態勢を構築し、さらに地域や家族との連携を密にするなど、社会的な意義と可能性を秘めた取り組み。

《会社概要》

住 所：〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-14-1 フロントプレイス日本橋 9 階

Web サイト：http://www.qol-assist.co.jp/

代 表 者：宮澤 聡一（代表取締役社長）

事業内容：データ入力、イラストデザイン制作、Web 関連業務

●株式会社明電舎 & 認定特定非営利活動法人コアネット < 全社・全組織の部 >

受賞テーマ：「小学生向けものづくり教室」

取り組み概要

- ・事業拠点がある自治体の教育委員会と連携し、選定されたモデル校の 6 年生を対象に「ものづくり教室」を展開している。活動は 10 年以上にわたり、これまでに約 130 校、8,600 名の生徒が参加した取り組みとなった。
- ・工場でのものづくりに応用されるような、電路理解・組み立てを要する教育内容になっており、昨今の理工系進学が減少しがちな中、ものをつくること、開発することの面白さや重要性を感じてもらい、理科離れ・工作離れ解消の一助になりたいという同社の思いがある。事業会社と NPO 団体が連携して実施することによって、社会への広がりや質の高さを保つ特徴的な取り組み。

《会社概要》

住 所：〒141-6029 東京都品川区大崎 2-1-1ThinkPark Tower

Web サイト：http://www.meidensha.co.jp/

代 表 者：浜崎 祐司（代表取締役 取締役社長）

事業内容：電気機器製造

住 所：〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-25-19 東建島津山南ハイツ 1206 号

Web サイト：http://www.core-net.org/

代 表 者：平林 克敏（代表理事）

事業内容：キャリア教育支援・モノづくり・理科教室支援・中小企業支援

「特別賞」

特別賞は、被災地域において復興と同時に先駆的モデルに挑戦している3組織を選出しました。未来への希望をつくり、様々な共感を呼んでいる地域での取り組みを取り上げ、委員会審議を経て決定しました。

(組織名五十音順)

●一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0 (宮城県)

取り組み概要

- ・東日本大震災で最大級の被害を受けた石巻を「震災前に戻す」ととどまらず「3.11 前よりも面白い街に」という想いでスタートした活動。人口流出、コミュニティの希薄化など、震災前から抱えていた問題も解決するため、地域内外の人を結び、既成概念に捉われない街づくりを展開。
- ・地元の若い商店主や NPO 職員をはじめ、建築家、広告クリエイター、Web ディレクターなど様々な専門家が集まる。これまで立ち上げたプロジェクトは大小合わせて 40 以上。内 2 件のプロジェクトは株式会社に発展・独立している。

《組織概要》

住 所：〒986-0822 宮城県石巻市中央 2-10-2

Web サイト：<http://ishinomaki2.com/>

代 表 者：松村 豪太 (代表理事)

●いわてアートプロジェクト実行委員会 (NPO 法人岩手未来機構) (岩手県)

取り組み概要

- ・震災後、世界的な画家、建築家、写真家などのアーティストが支援の手を差し伸べ続けた受け皿として、また被災地支援の中で広がった様々な出会いを縁に、芸術を通じた被災者の心のケアを支援する。国内外約 20 人のアーティスト達を中心に、数多くのワークショップが開かれ、70 回を超えるワークショップには 2,000 を超える人が参加した。「いわてアートプロジェクト」などを通して、これまでの作品と共に震災の風化防止を訴えている。

《組織概要》

住 所：〒020-0015 岩手県盛岡市本町通 1 丁目 6-3 本町通桜苑ビル 208

Web サイト：<http://iwate-art-project.net/>

<http://iwatemiraikiko.sakura.ne.jp/>

代 表 者：福井 誠司 (実行委員長)

●一般社団法人チーム熊本 (熊本県)

取り組み概要

- ・東日本大震災支援のため結成された民間ボランティア「東日本大震災・熊本支援チーム」のメンバーが中心となり立ち上げた。地元で起きた熊本地震により「熊本地震・熊本」に改名、支援活動を展開。民間の機動性を活かし、全国や地域内ネットワークをフル活用した独自の支援ルートを確認、「孤立集落」や「非指定避難所」への物資支援や行政では対応しづらいニーズの被災地支援で活躍。
- ・地元若手事業家に加え、被災した一般市民や学生がリーダーとなり、ボランティアスタッフとともに様々なニーズに対応。SNS 等を活用した情報の拡散・収集整理やメンバー個々の繋がり・スキルを通じた企業や他の支援団体との連携も多く、支援する側と被災者・被災地の情報を広く共有。

《組織概要》

住 所：〒862-0951 熊本県熊本市中央区上水前寺 1-6-41 OCO ビル 903 号室

Web サイト：<http://kumamoto-team.net/>

代 表 者：三城 賢士 (代表理事)・池田 親生 (代表理事)

「グッドパートナー賞」

本賞は、KAIKA Awards の設立以来のエントリー活動全体を通じた、「KAIKA への賛同」「人を基軸とした経営の姿勢」「Awards の活用の仕方」「受賞にチャレンジする姿勢」等に対して、大いに感謝するとともに、こうした姿勢を今後とも応援したく、「グッドパートナー」として、既設の賞とは別に、日本能率協会が選出・贈賞するものです。

●株式会社竹中工務店

同社は、2014 年度の KAIKA Awards の設立当初から、KAIKA の主旨に賛同いただき、エントリーという形を通じて本賞を支持いただいております。毎年、受賞後にはそのメリットも感じていただき、翌年には同社内他部門へのご紹介という形で他部門からエントリーが続いてまいりました。

このような状況を踏まえ、同社に感謝の意を込めて、本年、既存の賞の枠組みを超えた形で、日本能率協会・KAIKA Awards 事務局より、本年特別に当賞を贈賞いたします。

○同社のこれまでのエントリーテーマ、部門、受賞（紹介事例）歴

年度	テーマ	エントリー部門	受賞紹介事例
2014	伝統継承とDNA醸成、そして進化する『新社員教育制度』～竹中精神を基盤とした社会との対話～	人事室 (全社)	KAIKA 賞
2015	体験型研修施設による建築技術者の育成及び教育関係者・学生への「建築」教育プログラムの実施	生産本部 (全社)	KAIKA 賞
2016	『竹中技術研究所研修生制度』を通じた、人づくりと建築・まちづくりによる社会貢献	技術研究所 (全社)	特選紹介事例
2017	グループ成長戦略を支える人づくり ―グループ一体となった国内子会社における人材育成への取り組み―	関連事業室 (全社)	上記活動を含めた グッドパートナー賞

《組織概要》

住 所：〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-13

Web サイト：<http://www.takenaka.co.jp/>

代 表 者：宮下 正裕（取締役社長）

事業内容：建築工事及び土木工事に関する請負、設計及び監理

「特選紹介事例」

特選紹介事例は、テーマの重要性や取り組み方のユニークさ等をもつ7組織を、贈賞とは別に選出したものです。

(組織名五十音順)

●有限会社風曜日・てしかがえこまち推進協議会UD部会 <全社・全組織の部>

テーマ：「ユニバーサルな観光地を目指して・・・！！」

取り組み概要

- ・「観光客減少に歯止めをかけたい」「おもいやりにあふれた共生社会を実現したい」という想いで民間と行政が一体化となり、**ユニバーサルな観光地として環境を整備し、機運を生み出す**取り組み。当初は関心が薄かった障がい者の受入などについて研修会や啓発活動を繰り返し、部会活動に発展させてきた。
- ・障がい者の来訪増加と、地域のボランティアサークルの活動が相乗効果を生み、来訪者に質の高いサービスを提供できるようになっている。来訪者が増加することで地域の事業者の意識も変わりつつある。地域のビジネスにおいて大きな示唆を持つ活動。

《組織概要》

住 所：〒088-3222 北海道川上郡弟子屈町字弟子屈原野 883 番地

Web サイト：<http://www.masyuko.or.jp/eco2/index.html>

代表者：三木 亨（代表）

事業内容：宿泊業

●株式会社セプテーニ・ホールディングス <全社・全組織の部>

テーマ：「一人ひとりが活躍できる社会の実現にむけたプロジェクト

AI 型人事システムを活用した地方学生向け『オンライン・リクルーティング』 ～交通費・宿泊費を一切かけず、エントリーから内々定までウェブで完結～」

取り組み概要

- ・同社は、膨大な人材データを分析し、人材育成を科学的な観点から明らかにする研究をしており、採用ではデータから活躍度予測を行い、定量的かつ客観的な判断によって自社に合った人材の獲得に繋げている。活躍度予測による採用は、**全選考のオンライン化も実現し、地方学生でも負担の少ない採用**を展開。また、選考の可否にかかわらず、個性の情報をフィードバックし、キャリア設計を支援するなど、今後の人の採用・活用の仕方を大きく変える可能性を持つ取り組み。

《組織概要》

住 所：〒160-6130 東京都新宿区西新宿 8 - 17 - 1 住友不動産新宿グランドタワー30F

Web サイト：<https://www.septeni-holdings.co.jp/>

代表者：佐藤 光紀（代表取締役 グループ社長執行役員）

事業内容：インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社

●全日本空輸株式会社 <プロジェクト・部門の部>

テーマ：「ANA BLUE WING プログラム」

取り組み概要

- ・世界中で社会課題解決に取り組む人々、いわゆる「チェンジメーカー」の翼となり移動を支援する取り組み。世界 75 億人のうち、飛行機に乗れるのはわずか 6 %だが、チェンジメーカーたちの支援を通して飛行機に乗れない途上国の人たちの発展に寄与することで社会に還元したいという想いからスタートした。社内外で社会貢献に関心が高い人々を巻き込み、チェンジメーカーの航空移動支援の対価として、チェンジメーカーが企業のマーケティングに参加し、人々を引き付けるストーリーをつくり、伝播をねらう。お客様が BLUE WING 経由で航空券を買った時に 1 %が ANA からチェンジメーカーに還元される。本活動を通じて ANA の認知や顧客獲得にもつながっている。

《会社概要》

住 所：〒105-7140 東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号汐留シティセンター

Web サイト： <https://www.ana.co.jp/group/>

代 表 者：平子 裕志（代表取締役社長）

事業内容：1.定期航空運送事業、2.不定期航空運送事業、3.航空機使用事業、4.その他附帯事業

●公益財団法人東京都環境公社 <全社・全組織の部>

テーマ：「東京から水素社会の未来を発信！ —水素情報館『東京スイソミル』における環境学習事業—」

取り組み概要

- ・スイソミルは全国初の水素エネルギーの普及啓発施設。質の高い情報発信により水素の社会的受容性の向上を図ると共に、職員育成・他事業連携の場として環境学習事業を設計し運営している。
- ・本活動は、同公社が既存施設を活用して普及啓発施設にすることを自主的に企画し、1年半かけて施設を開館させた。外郭団体が行政からの受託等にとどまらず、自主的に企画立案を行い、職員の意識変革を巻き起こしながら、組織間連携を進めた好事例。

《組織概要》

住 所：〒130-0022 東京都墨田区江橋 4 - 26 - 5 東京トラフィック錦糸町ビル 8 階

Web サイト： <https://www.tokyokankyo.jp/>

代 表 者：影山 竹夫（理事長）

事業内容：地球温暖化防止活動の推進、省資源化と資源の循環利用の促進等、東京都の環境行政を補完する業務

●東邦レオ株式会社 <全社・全組織の部>

テーマ：「グリーンなライフスタイルを実現 内と外を繋げる『街の ENGAWA』づくり マンションを起点に暮らしが広がる緑を媒介にしたコミュニティビジネス」

取り組み概要

- ・植栽管理などを手掛ける同社は、特に集合住宅において、高齢化が進む分譲型団地が増加しつつある今、若者が魅力を感じるような地域コミュニティが形成されていない点に、大きな社会課題の認識を持つ。
- ・同社は本業を生かして、居住者が共通関心を持ちやすい敷地内の緑の活用を通じ、年齢問わず住民が管理組合運営に主体的に関わっていくことを目指した活動を展開している。コミュニティの形成が住民同士の合意形成を円滑に進め、街づくりに貢献できるという想いを込めて活動している。

《組織概要》

住 所：〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-15-5

Web サイト： <http://www.mansion-green.jp/>

代 表 者：橘 俊夫（代表取締役会長）

吉川 稔（代表取締役社長）
業務内容：Green×Town 事業、建築ソリューション事業

●株式会社ナカダイ <全社・全組織の部>

テーマ：「多様な価値観と自由な発想で、廃棄物処分業からコペルニクス的に事業転換したナカダイ流マーケティングビジネスモデル」

取り組み概要

- ・産業廃棄物処分業を、単なる処分ではなく、「捨てる」と「使う」をつなぐことをコンセプトにした事業に変容させた活動。
- ・「廃棄」という行為を見直し、再解釈し、新たな組み合わせ創造という、「リマーケティングビジネス」に変容。「丁寧に分別・解体し新しい素材をつくりだし、その素材から新しい価値観を創造する」と自らの業務を定義しなおし、素材の付加価値で売上が増大するクリエイティブな産業への変化をはかっている。業界のイメージアップと構造的な矛盾の解決を進める好事例。

《会社概要》

住 所：〒140-0004 東京都品川区南品川 2-4-5 na ビル 9F
Web サイト：www.nakadai.co.jp/
代 表 者：中台 正四（代表取締役）
事業内容：鉄・非鉄卸売業、一般・産業廃棄物処分業

●株式会社富士通アドバンストエンジニアリング <全社・全組織の部>

テーマ：『コミュニケーション・ホスピタリティ』を活用し『人・企業・社会』を豊かに変えていく職場活性化の取組 ～これからの時代を生き抜く、新たなエンジニア人材創出に向けて～

取り組み概要

- ・エンジニアの活動は、コミュニケーションスキル・ホスピタリティスキルをもった協創活動であるという解釈のもと、職場メンバーがその力を高め、個人の成長と組織の成長が同時に向上することを目指した取り組みである。
- ・SEの活動を「ホスピタリティ」をキーワードとして顧客とコミュニケーションをとり、提案をしながら協創する活動へとシフトさせている。ベテラン社員の在り方、システムエンジニアの在り方を質的に問い直した示唆に富む取り組み。

《組織概要》

住 所：〒163-1017 東京都新宿区西新宿新宿 3-7-1 パークタワー18階
Web サイト：www.fujitsu.com/jp/group/fae/
代 表 者：豊島 雅博（代表取締役社長）
事業内容：エンジニアリング・サービス事業、ソフトウェア・ハードウェア開発及びサービス事業

以上